

藤和けんこう通信



2014年2月号 VOL.40

新スタッフ加入しました！

発行元：藤和マッサージ（訪問マッサージ・はりきゅう）
小田急相模原駅徒歩6分 神奈川県相模原市南区南台4-13-23 TEL 042-855-0420

藤和マッサージスタッフ交流会

昨年末に藤和マッサージスタッフによる交流会を行いました。以前にも交流会は行いましたが、今回は過去最高の参加者で14名のスタッフが参加しました。藤和マッサージでは介護施設などで、集団リハビリを行っておりそこで活躍しているスタッフもかけつけてくれました。普段あまり交流することの無い仲間と意見交換ができ有意義な会合になりました。

楽しく食事とコミュニケーションをとり、
会合後は一致団結し施術への意識が
高まりました。
より一層皆様の力になればと思います！
これからも藤和マッサージをどうぞ
よろしくおねがいします！！

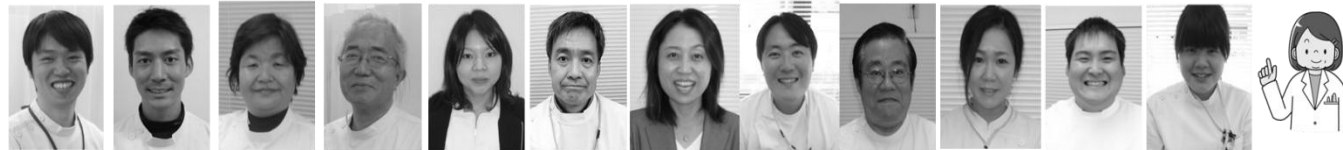


交流会参加者で集合写真!!

※ノロウイルス食中毒注意報※

ノロウイルスの感染が各地で報告され、流行しているようです。
冬季に多発し、下痢だけでなく嘔吐が多いことが特徴のノロウイルスは経口感染により感染します。手洗いや食品の加熱などで感染を予防しましょう。

ベテランから女性まで幅広いスタッフがいます！



須藤 新

石黒 一星

添田 真理子

板垣 鋭司

榎本多佳子

小木野真史

近藤マチ子

岩本友保

牧口隆一

渡邊育子

石井 旭

吉田真理子

若井清美



ベテランマッサージ施術スタッフさん、入社しました。

小木野 貴史(おぎの たかし)

マッサージ師(国家資格)施術スタッフ



昨年末より、新しく施術スタッフ・小木野貴史さんが入社致しました。とても真面目な人柄でベテランではあるものの、常に技術の向上を目指し勉強してます。知識も豊富で古武術を利用した介助方法を知っており、小木野さんが中心となり介助方法のマニュアルを作成するなど早速活躍してくれました。そんな頼れる施術師なのですでにスケジュールは忙しくなっていますが、どうぞ皆様よろしくお願ひ致します。

治療に対する思い

施術をする時に私が大切にしている事は、一期一会の施術です。心の状態をこの一回だけの施術と集中することで、色々な不安を持たれている患者様の心と一瞬つながることができるように思います。内面を大切に施術に向き合っていきたいと考えています。

施術研修

藤和マッサージでは施術の研修を行っております。

現状の施術で満足せず、常により良い施術を追及しています。

マッサージ師同士で施術を受け合う事により厳しく判断しアドバイスをします。

研修の様子





かかりつけ医と高度診断機関 認知症ケア役割分担

(2014年1月24日 読売新聞)

兵庫県は、「1群」「2群」に区別して登録した「認知症対応医療機関」が、連携と役割分担を強化して、認知症患者の治療にあたる新制度を今月から導入した。

都道府県レベルでは初の取り組みといい、かかりつけ医ら身近な医療機関の役割と、高度な検査機器で診断する専門医の役割を分担。増え続ける患者の利便性に配慮するとともに、初期段階での受診を促すのが狙いだ。認知症に関する相談や一般的な診療ができるかかりつけ医などの医療機関を「1群」、専門医を配置するだけでなく、脳血流検査など高度な医療機器を使っての診断が可能な医療機関を「2群」として登録を進めてきた。認知症の患者や家族は、まず、1群の医療機関を受診し、認知機能や心理状態を診察してもらう。医師が精密検査の必要性を認めた場合には、2群の医療機関に紹介状を書いてもらう。2群では、臨床検査や脳の画像診断を行い、1群と連携しながら治療を続ける。県高齢社会課は「家族や本人が『おかしい』と異常に気づいた初期段階で、気軽にかかりつけ医に相談できる体制を整えることで、症状の悪化を防ぎ、看護する家族やヘルパーの負担軽減につながれば」と期待している。

介護サービス、男は女より“苦手”

(2014年1月24日医療介護CBニュース)

自分のために介護サービスを利用したくないと考える人は、女性より男性に多いことが、メディケア生命保険（東京都江東区）の調査で分かった。調査では、自分の配偶者のための介護サービスの利用についても、女性より男性の方が否定的にとらえる傾向が強いことも分かり、介護サービスに対する男性の“苦手意識”が浮き彫りになった。「自分に介護が必要になっても、介護のサービスは利用して欲しくないと思うか」の質問では、男性の20.2%が「非常に当てはまる」か「どちらかといえば当てはまる」と回答。一方、同様の回答をした女性は、6.0%にとどまった。また、「配偶者に介護が必要になっても、介護のサービスは利用したくないと思うか」の質問では、男性の24.4%が「非常に当てはまる」か「どちらかといえば当てはまる」と回答。同様の回答をした女性は6.8%だった。そのほか調査では、7割余りの人が配偶者に介護が必要になっても、自宅で一緒に暮らしたいと考えている。4人に3人は、将来、配偶者に介護が必要になったら、経済的に耐えられないと考えていることなども明らかになった。

インフル患者急増34万人…ピーク2月上旬頃か

(2014年1月18日 読売新聞)

インフルエンザ患者が全国的に急増し、流行が本格化している。厚生労働省の推計では、患者は12日までの1週間に約20万人増えた。過去2シーズンに流行したのとは違う型のウイルスの感染例が増えており、免疫がない乳幼児などに感染が広がる可能性があるとして、厚労省は予防の徹底を呼びかけている。今季は流行期入りか12月下旬と例年よりやや遅く、流行のピークは2月上旬頃になる可能性があるという。

発行元

無料体験マッサージ、いつでもお気軽にどうぞ
【医療保険適応 訪問マッサージ・はりきゅう】

TOWA
藤和

藤和マッサージ

TEL 042(855)0420

〒252-0314相模原市南区南台4-13-23（小田急相模原駅徒歩6分）